

# P-バスターズ通信



## ~~今回は「肥育豚の感染遮断」について~~

母豚の免疫が安定し、子豚が PRRS ウイルスに感染していない状態で、離乳させることができるようになった後は、いよいよ各豚舎からウイルスを排除していく段階です。そのためには、肥育豚のウイルス感染を無くし、豚舎内のウイルスを徐々に減らしていく必要があります。

共通の対策は無く、農場ごとで出来ることを実施していくこととなります。今回は、その対策の一例をご紹介します。

### 1 肥育豚の感染遮断から清浄化までの道筋

肥育豚のウイルス感染を無くすためには、ウイルス感染のサイクルを遮断することが必要です。「ステージⅢ」の状態からウイルス感染を無くすことにより、抗体だけが残った状態が「ステージⅣ」です。さらに、抗体を保有している豚が出荷等でいなくなり、農場内の全ての豚が抗体を持たなくなった状態が「ステージⅤ」(清浄化達成)です。

	母豚の繁殖障害	垂直感染	肥育豚のウイルス感染	抗体
ステージⅠ	あり	あり	あり	陽性
ステージⅡ	なし	あり	あり	陽性
ステージⅢ	なし	なし	あり	陽性
ステージⅣ	なし	なし	なし	陽性
ステージⅤ	なし	なし	なし	陰性



## 2 肥育豚の感染遮断対策の例

### (1) 消毒の徹底

アルコール、石灰、逆性石鹼（パコマ等）、塩素系消毒薬（ビルコン等）など一般的な消毒薬が有効です。豚舎が空舎になった後は、しっかり洗浄・消毒しましょう。

### (2) 一時的空舎期間の確保

- ① オールアウトが可能な豚舎：オールアウト後に洗浄・消毒・乾燥を徹底的に行い、空舎期間を長くすると、ウイルス量の低減に効果的です。
- ② オールアウト出来ない豚舎：部屋単位で洗浄・消毒・乾燥を徹底し、空舎期間を設ける事で効果が期待できます。  
(新しく簡易豚舎を設置して既存の豚舎の豚を一時的に入れることで、元の豚舎を洗浄・消毒後、空舎期間を設けることも効果的です。)

### (3) ウイルス排せつ豚との接触回避

- ① ベニヤ板などを張り、隣合う豚房の豚同士が触れ合わないようにする。
- ② 発育不良豚の隔離や早期淘汰をする。
- ③ 感染豚を管理した後で、非感染豚に触れないよう、豚舎内での作業者の動線（清浄⇒非清浄）をワンウェイにする。ワンウェイにできない場合は、長靴や衣類、器具等を豚舎ごとに替える。

PRRS 対策等については農場ごとに違いますので、下記担当者にご相談ください。

### 家畜保健衛生所 PRRS 清浄化対策チーム担当者

西部家畜保健衛生所（杉本・鈴木）	Tel:0569-72-0344
尾張支所（犬養）	Tel:0568-81-1874
中央家畜保健衛生所（井藤・清水）	Tel:0564-51-5183
豊田加茂支所（高橋）	Tel:0565-32-0459
東部家畜保健衛生所（鈴木・杉浦）	Tel:0532-45-1141
新城設楽支所（水野）	Tel:0536-22-0549

